



川島 素晴
(作曲・指揮)



工藤 あかね(ソプラノ)



在原泉(アルト)



松平 敬(バリトン)

「アンサンブル東風」演奏会

川島素晴作曲・指揮によるコンサート

演出…志賀野桂一



アンサンブル東風
(管弦楽団)



中川 雅寛(タンス)



真鍋尚之(笙)

2024年

1.21 日

開場 13:30 開演 14:00

入場料 全席自由 1,500円 (税込)

会場 多賀城市文化センター(大ホール)
〒985-0873 宮城県多賀城市中央2丁目27-1
駐車場には限りがあります。公共交通機関をご利用ください。

お問い合わせ

問い合わせ担当者(受付時間/平日10:00~16:00)

TEL 090-6788-1796
090-8565-1830

アートキャラバンみやぎ <https://art-ca.net/>

公演情報

公演内容の詳細は
右記のQRより
ピーティクスの
イベントページを
ご確認ください。



株式会社 シバタインテック

一人ひとりの生命、健康、未来に向かって

地域の医療に貢献したいという熱い思いを胸に、5人の社員が集結し、シバタインテックが誕生しました。創業からもうすぐ100年、医療・介護の機関とメーカーを結ぶ総合医療商社として、お客様のニーズに応えるだけでなく、「私たちならではの提案」を行い、社会の発展に寄与しています。これからも一人ひとりの生命、健康、未来に向けて。

株式会社シバタインテック

〒984-0015
宮城県仙台市若林区卸町2丁目11番地3
TEL: 022-236-2311
FAX: 022-236-2362
URL: <https://www.shibataintech.co.jp/>

《演じる音楽》ライブエンターテインメントの極致!

「題名のない音楽会」でも活躍する現代音楽の作曲家・川島素晴氏、
長年続く「インヴェンション」シリーズや「発話と器楽」を追求してきました。

今回は、詩と歌でどんな音楽世界を聴かせてくれるのか楽しみです。
現代音楽のプロ演奏集団・アンサンブル東風の演奏も聴き逃さない。

プログラム Program

1 川島素晴：笙協奏曲“TEASOBI feat. アンサンブル東風”(2023)

2 川島素晴：「多賀城創世記」より ※作曲者による解説付き。

プロフィール Profile

川島 素晴【作曲・指揮】

作曲家として、1992年秋吉台国際作曲賞、96年ダルムシュタット・クラニヒシュタイン音楽賞、97年芥川作曲賞、17年一柳慧コンテンポラリー賞等を受賞。アンサンブル東風での指揮活動等、様々な演奏活動も行う。指揮者としてはこれまでに、東京フィルハーモニー交響楽団、仙台フィルハーモニー交響楽団等と共演。ガウデアムス国際音楽週間、サントリーホール・サマーフェスティバル等、様々な音楽祭やイベントに出演してきた。いずみシンフォニエッタ大阪プログラムアドバイザー等、現代音楽の企画・解説にも数多く携わり、「題名のない音楽会」等の番組に解説者として多数登壇。日本作曲家協議会副会長。国立音楽大学、同大学院准教授。

工藤 あかね【ソプラノ】

東京藝術大学卒業。サントリー芸術財団「サマーフェスティバル」「Tokyo experimental festival」「Tête à Tête The Opera Festival(ロンドン)」「ダ・ヴィンチ音楽祭 in 川口」「草津夏期国際音楽祭」などに古楽からオペラ、現代に至るレパートリーで出演。新作初演も数多く手がける。本年は「MFJ音楽祭」(ニューヨーク)に招かれ講演を行い、演奏会にも出演した。シェーンベルク/シュタイン編「月に憑かれたピエロ」の世界初録音がレコード芸術にて特選盤。第1回一柳慧コンテンポラリー賞。ヒロイン役を歌ったレロイ作曲のオペラ「THE 鍵 KEY」が佐治敬三賞。

在原 泉【アルト】

弘前大学教育学部音楽科を経て、岩手大学大学院修士課程修了。

歌劇「さまよえるオランダ人(演奏会形式)」マリーでデビュー以降、「ヘンゼルとグレーテル」ヘンゼル・魔女、「魔笛」侍女、「こうもり」オルロフスキーと幅広い役柄を演じ、表現力に富んだ声で聴衆を魅了している。またオペラだけにとどまらず、ヴィヴァルディ「グローリア」、モーツァルト「レクイエム」、バッハのカンタータなどの宗教曲やベートーヴェン「第九」のソリストとしても活躍している。

松平 敬【バリトン】

東京芸術大学卒業、同大学院修了。現代声楽曲のスペシャリストとして、湯浅譲二、松平頼暁、高橋悠治、西村朗、川島素晴など150曲以上の作品を初演、クセナキス、シュトックハウゼンなど、演奏至難な作品の日本初演も行う。これまでサントリーホール・サマーフェスティバル、新国立劇場、コンポーザム(東京オペラシティ財団)、東京・春音楽祭などに出演。CD録音においても、一人の声の多重録音を駆使した「MONO=POLI」(平成22年度文化庁芸術祭レコード部門優秀賞)など3枚のアルバムを発表。チューバの橋本晋哉氏とのユニット「低音デュオ」名義でも2枚のCDをリリース。2019年には著書「シュトックハウゼンのすべて」(アルテス・パブリッシング)を出版。第32、34回ミュージック・ベンクラブ音楽賞受賞。

真鍋 尚之【笙】

伝統に根ざしながら独奏楽器としての笙の地位を確立させ、さらに超絶技巧を用いた作品の演奏で笙の魅力を飛躍的に発展させた。豊かな表現力で笙を自在に操る姿は「笙のパガニーニ」とも呼ばれ賞賛されている。

洗足学園大学(専攻/作曲・声楽)および東京芸術大学邦楽科雅楽専攻卒業。作曲及び演奏での受賞多数。2011年~2012年文化庁文化交流使としてドイツ・ベルリンを拠点に活動。帰国後も定期的にソロをはじめアンサンブル、また雅楽の古典をヨーロッパに紹介する企画をオーガナイズしている。

中川 雅寛【日舞】

宮城県仙台市出身。
日本舞踊家/中川流家元。歌舞伎俳優であり人間国宝の坂東玉三郎丈の私塾に最年少で合格し、8歳で上京。日本舞踊を中心に舞台全般を学ぶ。日本舞踊を坂東玉三郎丈・藤間勘そめ師に師事。
東日本大震災後に故郷を思い帰郷し様々な舞台に出演。「奥羽綿津見盆踊実行委員会」の代表を勤め、防災を文化として地域に根付かせる活動にも力を入れている。

アンサンブル東風【管弦楽団】

1999年、松下功を代表に当時の若手作曲家および演奏家によって新たに結成された室内管弦楽団。古典から現代まで幅広いレパートリーを持ち、日本を含むアジアの現代音楽の紹介に積極的に取り組んできた。これまでに国内の定期演奏会の他、各地で公演を行う。海外では韓国、台湾、タイ、ミャンマー、オランダなどの音楽祭にも出演。'14年、『アジア音楽祭2014』にてベストパフォーマンス賞受賞。'20年、松下律子が代表に就任。聴衆と一体になった音楽作りを目指し、活動を展開している。



アクセス

多賀城市文化センター

宮城県多賀城市中央2丁目27-1

駐車場には限りがあります。公共交通機関をご利用ください。

【電車】JR仙石線・仙台駅乗車(料金片道240円)→20分→多賀城駅下車→徒歩10分→多賀城市文化センター

【自動車】仙台市中心部から国道45号・産業道路で約30分



多賀城創建記念

TAGAJO 130th Anniversary
724-2024

アートキャラバンみやぎ
Webサイトはコチラ!

<https://art-ca.net>

